

宮之浦岳、縄文杉、太鼓岩 山行記

【山行日】 2023年5月26日～28日

【参加者】 ハンブルクの星（非会員5人）

【コメント】

1. 宮之浦岳 5月26日

日本百名山で九州の最高峰、屋久島の宮之浦岳（標高：1936m）に登頂しました。屋久島と言えば「ひと月に35日雨が降る」と言われるほど雨が多いので雨中の登山を覚悟していましたが、晴れ男（？）の本領を発揮したのか、この日を含めて島に滞在した期間は1度も本格的な雨に降られることなく、カッパを着ることもなく、全ての山行を楽しむことが出来ました。

民宿を朝4時に出て、淀川登山口には5時半ごろ到着。駐車場は10台そこそこで満杯。行程約15km、約10時間のコースのスタートを切ってまずは足慣らしで淀川小屋へ。ここから所々に散在する屋久杉を見ながら樹林帯を抜けると開けた小花之江河と花之江河に出て、徐々に森林限界を抜けて花崗岩の奇岩が続く黒味岳の分岐、ここから急なアップ、ダウンを繰り返してよいよ宮之浦岳や太平洋の海も眺望できる大きな花崗岩が散在する投石平に到着。

ここから更に急な上りを経て登山道沿いの屋久島固有種のヤクシマシャクナゲを見ながら、それをカメラに収めながら歩を進めて栗生岳から最後の急登を経て遂に宮之浦岳山頂（標高：1936m）に立つ。眼前には九州第2の高峰の永田岳や第6の高峰の黒味岳、海の向こうには口永良部島も見える。何より晴れているのが嬉しい。山頂は結構登山者が多くて、山頂標識などの写真を撮るにも順番待ちだった。山頂は15分くらいで下山開始。

投石平への急坂を下って行くと屋久島固有種のヤクザサが一带を覆っている個所に、これも固有種のヤクシカに遭遇。悠然と葉を頬張ってこちらを見ていたのが印象的。あとはアップダウンを繰り返しながら黒味岳分岐を経て花之江河手前の水場で屋久島の美味しい軟水の水を飲む。屋久島の水はとにかく美味しかった。そして淀川小屋を経て、淀川登山口に戻った。

【行程】

5 : 45 淀川登山口
6:30 淀川小屋
8 : 15 花之江河
9 : 05 投石平
11 : 00 栗生岳
11 : 20 宮之浦岳山頂
12 : 40 投石平
13 : 50 花之江河
15 : 00 淀川小屋
16 : 00 淀川登山口

累積標高（上り） 1393m

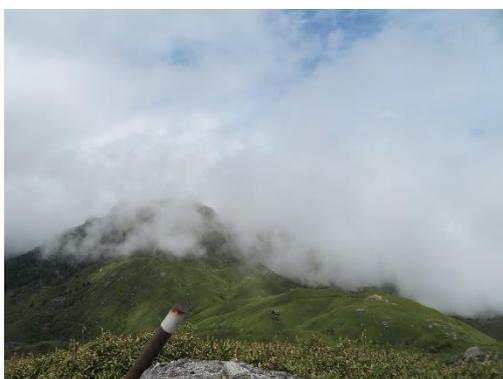
累積標高（下り） 1381m



ヤクシマシャクナゲ



宮之浦岳山頂



永田岳遠望



ヤクシカに遭遇